

羽田空港を極めよう！

2016年9月23日（金）第一支部研修 終了レポート

JGA 第一支部運営委員会

9月23日（金）午後13:00～19:00 羽田空港を極めよう！研修には、会員30名が参加、6時間にわたる長丁場の研修は3本立てで、盛り沢山の充実した1日でした。

第1部13:00～14:30は、羽田空港国際線旅客ターミナル見学であり、東京国際空港ターミナル株式会社様に、研修室でのご講義、VTR視聴、その後国際線旅客ターミナルの出発フロア（4階江戸小路や日本橋等を含む）、到着フロアを解説頂きました。至る所にユニバーサルデザインが適用され、障害者のみならず、外国人や子供、高齢者、老若男女すべての利用者にとって快適な工夫が施されています。ビジネスジェット専用ゲートの説明もいただき、その利用者は一日5組位、政府関係、VIPや諸外国の富裕層等、料金は26万円/回だそうです。



国際線ターミナルから無料のターミナル間バス（6分おきに発車）に乗り、7分で国内線第2ターミナルに到着しました。2階出発フロアの時計台6番から第2部15:00～16:30国内線ターミナル見学が始まりました。日本空港ビルディング株式会社に約90分間見学解説を頂きました。あちこちに分かり易い色分け表示があったり、航空会社によっては預け荷物を自動チェックインできるシステムを導入していたりして、改めて気づくことが多かったです。参加者皆健脚にて、歩いて国内線第1ターミナルへ移動しました。



第3部17:00～19:00は、日本航空のメインテナンスセンター（機体整備格納庫）を見学できるJAL SKY MUSEUM見学です。東京モノレールで次の「新整備場」駅へ移動、事前の個人登録カードで各人入館しました。まず、飛行機の機体の重さ・大きさ・スピード等の常識から、ボーイング社での機体を造る様子を収めたビデオ等を拝見し、いかに飛行機自体について何も知らなかったかを認識しました。それから展示室での見学。一連の日本の航空業界の歴史を中心に学びました。昔の客室乗務員の制服を身



に着け写真撮影「アテンションプリーズ！」を懐かしんだ参加者もいました。格納庫では間近に巨大な機体を見て整備について学んだだけでなく、空港内設備全景を見ることができました。機内食を作るセンターとそれを運ぶ特殊なトラック、離着陸に重要なレーダー、夕刻次々と着陸する飛行機も眺めることができ、夢のような一日を皆大変満足して帰路に向かいました。詳細はトラコンにてお伝えします。

